

令和6年1月19日

政治刷新本部
本部長 岸田文雄 殿

自由民主党
全47都道府県支部連合会
青年部・青年局一同

新・自民党に向けた申し入れ

一連の政治資金をめぐる問題により、我が党は著しく国民の信頼を失っている。そのため、抜本的な党改革による解党的出直しが求められている。

自民党青年局は、主に45歳以下の党員20万人で構成されており、常に最前線で国民に向き合い、その声を受け止め続けてきた。

今般、政治刷新本部の発足を受け、刷新本部の中間とりまとめに向けて、全国青年部長・青年局長オンライン会議を開催し、本申し入れ書を作成した。

政治の信頼回復のために、踏み込んだ改革を断行していただきたい。

改革が断行されない場合、改革精神を持った我々青年局が主導して新しい自民党を作っていく覚悟である。

記

1. 党として実態解明に取り組み説明責任を果たすこと

党則・ガバナンスコードに基づき、本件で疑念を持たれた議員や派閥に関し、第三者機関での調査を含め、党自ら速やかに徹底的な実態の解明を図り、国民に対して丁寧の説明するとともに、党規違反が確認された場合には厳正な処分を下すこと。

2. 政治資金規正法や公職選挙法などの早急な改正に取り組むこと

本件の様な問題が二度と起こらないよう、振込の原則化や罰則強化などの政治資金の適正化を図るとともに、デジタル時代に合致をした選挙制度改革を含め、お金のかからない政治活動の実現をめざすこと。

3. 新たな党運営の構築

政治改革大綱にある派閥の弊害除去と解消への決意の通り、派閥によるパーティの禁止や人事推薦の廃止等により「金や人事への影響」を除去することで旧態依然とした派閥を解消し、政策で議員が連携をする体制を構築すること。

その際には、各議員の厳正な政治倫理の確立こそが信頼を回復する基盤であることを認識し、党改革の柱に据えること。

4. 党の新陳代謝を

本件で国民から厳しい声が集まる一方、青年世代による党改革への期待もある。今後も党の新陳代謝を図り、不断の改革を進めていくためにも、衆議院比例代表73歳定年制の堅持と同時に、当選回数至上主義の人事から脱却し、適材適所人事を徹底すること。

以上